

令和7年度おかやま学びたい賞 受賞作品決定!



岡山県幼児教育センター
「もんちゃん」

令和7年度おかやま学びたい賞には、小学校29校から46作品、中学校18校から45作品の応募がありました。応募作品は、探究的な学習に取り組んだ学習の過程を振り返り、題材を自分事として捉え、自己決定し、試行錯誤を繰り返すなど、児童生徒の「学びたい!」が溢れるすばらしい作品が多くありました。

最優秀賞

早島町立早島小学校
「早島の未来を守る勇者団」

岡山県立岡山操山中学校
「つなぐ布プロジェクト」

優秀賞

和気町立佐伯小学校
「3年生」

岡山県立岡山操山中学校
「高粱紅茶をPRし隊」

新見市立野馳小学校
「芸備線を守り隊」

赤磐市立桜が丘中学校
「大自然」

自己決定賞

真庭市立落合小学校
「真庭市立落合小学校5年生」



赤磐市立磐梨中学校
「赤磐HoodStar」

探究深掘り賞

和気町立本荘小学校
「本荘小学校6年生」



岡山県立岡山操山中学校
「pulumulu」

教科特別賞



早島町立早島小学校
「早島!い草守り隊!」

岡山県立倉敷天城中学校
「隈元 翠」

巻き込み賞

和気町立佐伯小学校
「あおぞら学級」

井原市立美星中学校
「星の郷ご飯」



新人賞

倉敷市立郷内小学校
「郷内小学校6年生」

最優秀賞・優秀賞作品やフォーラムの様子は義務教育課HPから見られます。



令和7年度おかやま学びたい賞 フォーラムより

2月13日(金)に行われた今年度のフォーラムは、22校39チームが13グループに分かれて意見交流をし、各グループのファシリテートを瀬戸高校、津山高校、玉野光南高校、井原高校の生徒たちが担いました。意見交流では、探究的な学習を進めていく過程で感じた「困った。」「難しい。」「思うようにいかない。」ときに、どのように考えたり、行動したりしたのかを紹介しました。地域や校種を超えた児童生徒がオンラインで**交流する(フィードバックし合う)ことで、自分の生き方を考えたり、学びの価値を再発見したり**することができました。



「交流後、未来の自分にどんなメッセージを送りましたか？」

【小学生】

・これからも「**やってみたい**」を大切にチャレンジを続けてね。

【中学生】

・探究を通して、**諦めずに他の方法を探し続ける**ということの大切さを学んだね。高校に行っても**探究活動の楽しさややりがい**を他の人にも伝えていこうね。

目標を再設定したり、新たな課題を解決したりする場面がたくさん見られました。

総合的な学習の時間の活動と教科で学んだ見方・考え方をもっと繋いで、行ったり来たりしながらさらに学びを深めていってほしいと思います。



熊谷 慎之輔
夢育アドバイザー

実際に物を作ったり、いろいろな人の所に行き行って相談したりする活動を通して、**粘り強さやコミュニケーション能力を高め**ていました。

これからも皆さんの夢や目標に向かっていく**チャレンジ**を応援しています。



中村 正芳
教育長

探究的な学習をする中で「学んだこと」最優秀賞校へのインタビュー

早島町立早島小学校



児童に聞きました!

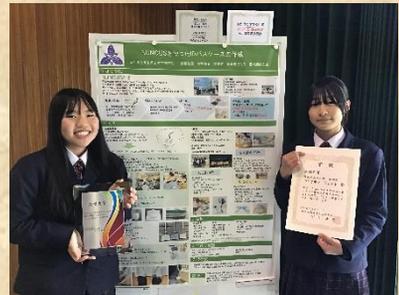
Q: 探究的な学習に教科の学習内容は、どのように関わりましたか?

A: 町を流れる川の水質を調べたことをきっかけに、環境問題について探究しました。生き物同士のつながりを学ぶ「生態系」や節電につながる「電気」の学習は、探究のテーマと関わりが深く、役に立ちました。

Q: 探究的な学習で難しかったことは何ですか?

A: 探究を深めるほど、時間が足りなくなりました。また、何かを伝えるときに相手に応じた伝え方に変えることも難しかったです。

岡山県立岡山操山中学校



生徒に聞きました!

Q: 探究的な学習に教科の学習内容は、どのように関わりましたか?

A: 社会科のSDGsの学習は、廃棄布に興味を持つきっかけになりました。

Q: 探究的な学習の中で「うまくいかない」ときにどのように解決していったのですか?

A: デザイナーとコラボした商品開発をしましたが、試作と改善を繰り返して行きました。商品開発は難しいですが、改善のたびに商品がよくなっている実感がありました。トライアンドエラーを繰り返し、まだ改善できることに幸せを感じていました。